資料2

交通マネジメント推進に向けた
2019年夏の試行概要（案）について

（1）試行期間

- 大会本番並みの目標を掲げ、交通混雑緩和に向けた取組を総合的にテストする期間を設定

  （参考） 全体平均で10%程度、重点取組地区を発着する交通について20～30%分散・抑制

- オリンピック・パラリンピックの期間に相当する期間を集中取組期間とし、企業等に重点的な取組を依頼
- 各社取組のピークを合わせるチャレンジウィーク及びコア日には、効果測定を実施
- TSMは大会時と同等規模で数日試行する他、選手村～競技会場間でのバス・フリート等の試走（コア日等）も予定

2019年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	スムーズビズ推進期間				20
21		チャレンジウィーク（7/22～26）、コア日を設定				27
28		集中取組期間① （7/22～8/2）				3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18		集中取組期間② （8/19~8/30）				24
25						31
9/1	2	3	4	5	6	7

※大会時を想定したTSMを数日試行

（参考）2020年カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23		
		オリンピック期間（7/24~8/9）				
	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	パラリンピック期間				
		（8/25~9/6）				
	7	8	9	10	11	12

（2）期間中企業に協力いただきたい取組（例）

交通手段

- 鉄道
- 道路（自動車）

移動の主体

- 人（従業員・顧客・関係者等）　鉄道　道路
- 物資（商品・備品・材料・書類等）　道路

行動の種類

- 通勤　鉄道　道路
- 会議・打合せ・商談　鉄道　道路
- 私事（買物、レジャー等）　鉄道　道路
- 荷物発送（発荷主）　道路
- 荷物受取（着荷主）　道路
- 荷物運搬（物流業）　道路

取組（例）

- テレワーク・時差出勤　鉄道　道路
- 休暇取得　鉄道　道路
- 公共交通利用　道路
- 会議・打合せ・商談の時期変更　鉄道　道路
- 会場周辺の駐車場利用の抑制（予約専用化）　道路
- 納品時期の調整（集中取組期間の前後）　道路
- リードタイムの緩和・まとめ発注　道路

※業種などにより、上記項目などから選択して実践をお願いします。

(3)「都庁2020アクションプラン」の取組概要

スムーズビズ Smooth Biz

◆大会時の交通混雑緩和のため、都庁自らが取り組む内容を「都庁2020アクションプラン」として策定

＜都庁2020アクションプランの取組内容（抜粋）＞

※ 警視庁、東京消防庁を除く都庁全局が対象

取組項目	取組内容 （ いつ ・ どのくらい）
オフピーク通勤の実施	本庁職員の約半数(5,000人程度)が時差出勤・テレワーク等を実施
研修等の実施時期の変更	大会期間中に職員研修の実施を避けるよう研修計画を策定
庁有車利用の抑制	本庁・事業所全てで利用を控え、利用が必要な場合も高速道路等を避ける
備品・コピー用紙等の納品時期変更	大会前にまとめて納品し、本庁・事業所含む約900箇所への納品ゼロ
コピー用紙・ごみの削減	会議資料の電子化、ごみ搬出前・後倒しによりごみ総量約40%削減を目指す
都庁発注工事の調整[追加]	大会関係地域等で、工事の発注時期等を調整する。 （※その年に必要な工事を着実に実施することを前提）

通勤時など鉄道混雑を緩和！

臨海部など道路混雑を緩和！

※緊急の場合や業務上実施が不可欠な場合等は除く

大会１年前の本番テストとして、今夏に各局でアクションプランの取組を大会時を想定して実施

＜2019年夏の取組＞

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

スムーズビズ推進期間

○時差出勤・テレワーク等を実施（※集中取組期中は大会時と同程度の規模を想定して実施）

集中取組期間①（ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ期間に相当）　集中取組期間②（ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ期間に相当）

○庁有車利用を控える
○コピー用紙・ごみの削減
○備品やコピー用紙等の納品ゼロ（前倒し）
○工事車両の出入り時間の調整など　等

※今後、取組の詳細を詰めていく

◆効果や課題等を検証し、大会開催時に向けた取組に反映
◆都庁の取組を企業に示し、アクションプランの作成・取組をお願いしていく

(4)東京港のコンテナターミナルのゲートオープン時間の拡大

【東京2020大会時における交通混雑の緩和に向けたトライアル】

- 東京2020大会では、多くの競技会場が東京港周辺に配置される。
- このため、大会運営と円滑な港湾物流を両立させるには、大会期間中における臨海部の交通混雑を緩和させる必要がある。
- そこで、2020大会時の交通需要マネジメント(TDM)に向けた取り組みとして、東京港のコンテナターミナルにおける貨物の搬出入時間(ゲートオープン時間)を拡大するトライアルを実施する。

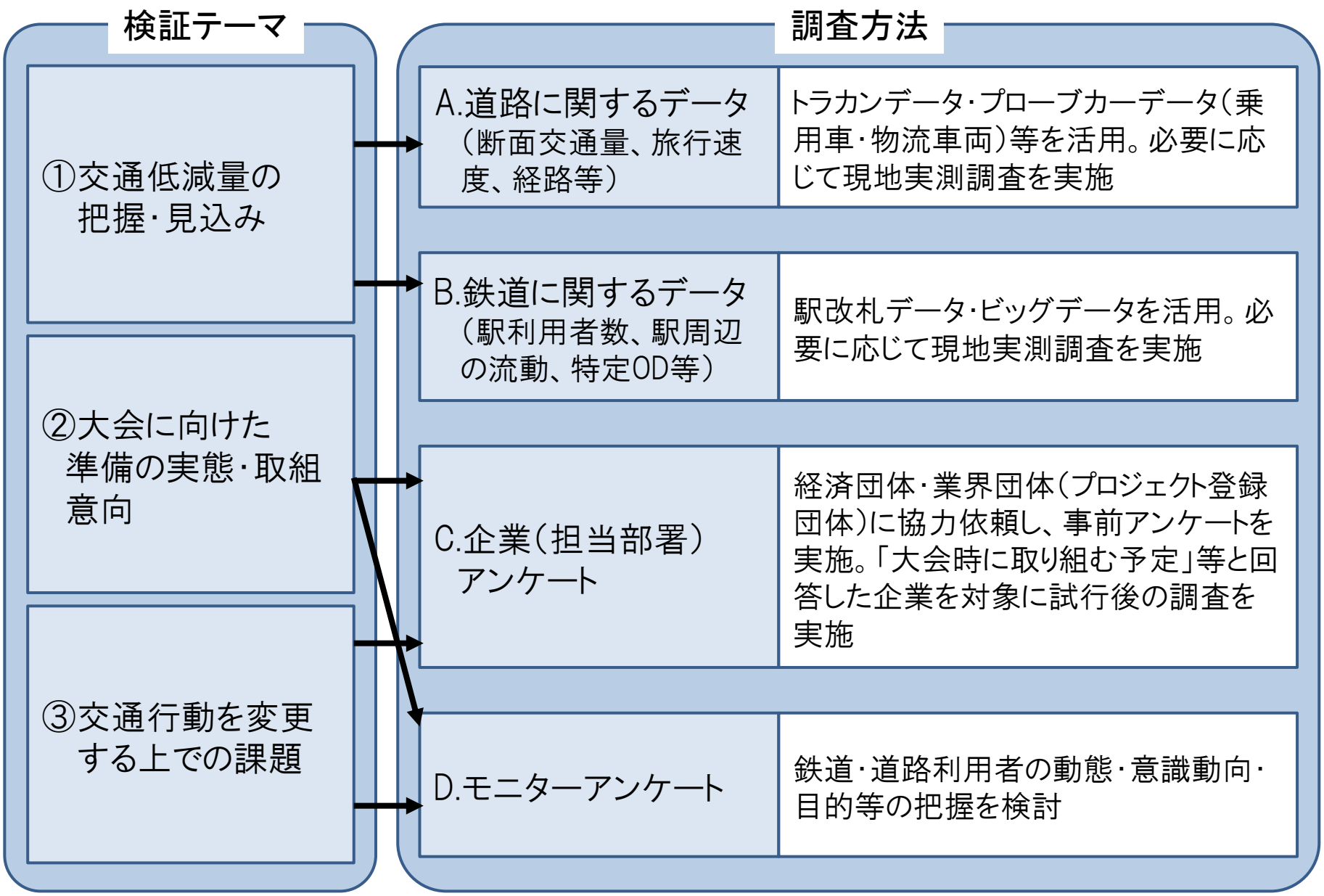
1　実施日
平成31(2019)年4月24日(水曜日)から
同月26日(金曜日)まで
令和元(2019)年5月7日(火曜日)から
同月9日(木曜日)まで
計6日間

2　実施するコンテナターミナル
東京港の全てのコンテナターミナル

3　ゲートオープンの拡大時間
早朝　7:30～　8:30(1時間)
夜間　16:30～19:30(3時間)

※ 通常のゲートオープン時間 8:30～16:30

（5）検証テーマと調査方法（案）



（6）テストイベントに合わせた検証（案）

検証内容（イメージ）

・テストイベント時の交通影響
・路上競技実施時のう回の発生状況
・交通量低減の集中的な呼びかけの効果
・物資の輸送のリードタイムや時間指定の緩和の効果
・選手村～会場間の円滑性確保を目指した本線料金所・入口の流入調整のテスト（交通量変化、料金所上流での滞留、閉鎖入口周辺の混雑）
・鉄道駅混雑のマネジメント　など

参考：検証対象とするイベント（候補）

・以下のテストイベント等の中から複数選択し、検証を実施することを想定

①7／23（水）～28（日）	バドミントン 【武蔵野の森総合スポーツプラザ】
②7／25（木）～28（日）	バレーボール（ビーチバレーボール）【潮風公園】
③8／7（水）～11（祝）	ボート 【海の森水上競技場】
④8／14（水）～16（金）	ゴルフ 【霞ヶ関カンツリー倶楽部】
⑤8／15（木）～18（日）	トライアスロン 【お台場海浜公園】
⑥8／20（火）～25（日）	バスケットボール 【さいたまスーパーアリーナ】
⑦8／25（日）～9／1（日）	柔道 【日本武道館】
⑧9／6（金）～9（月）	空手 【日本武道館】
⑨9／15（日）	陸上競技（マラソン）【明治神宮外苑】
⑩9／20（金）	ラグビーW杯　2019　開会式 【東京スタジアム】

（7）取組の促進方法（案）

- 2020TDM推進プロジェクト参加企業や、関連する取組（テレワークデイズ2019、スムーズビズ等）への参加企業等に対し、試行実施を呼びかける
- 関連主体と連携し、促進を図る

〈取組地域ごとの働きかけ方〉

取組地域	地域の位置づけ	取組地域での呼びかけの方法
①概ね圏央道内側	都心部との往来が見込まれる広域的な地域	各経済団体等への協力を依頼 →企業等に呼びかけ
②重点取組地区（16地区）	競技会場等が集中、道路･鉄道の混雑箇所を通過する交通が多い地区において重点的な取組を実施	
③特定のエリア	特有の課題を有するエリアにおいてさらに集中的な働きかけを行い、効果検証を実施	街単位の企業で構成されるまちづくり協議会等と連携を想定

（8）アウトプットイメージ

取得事項

①働きかけの実績
（説明会、個別訪問等）

②断面交通量の変化
（高速・一般道の混雑箇所等）
走行経路の変化
（乗用車・貨物車の動き）
改札通過人員（鉄道）
地区内滞在者数

③企業（総務・物流担当）
アンケート
- ・取組規模（メニューごとのおおよその取組割合）
- ・大会時の取組意向
- ・取り組もうとしたができなかったこと、取組規模拡大のための必要条件

④モニターアンケート
- ・目的・交通手段別の発着・経由地、走行距離の変化、取組メニュー
- ・大会時の取組意向
- ・各メニューに取り組む上での課題

⑤一般利用者アンケート
- ・大会時の取組意向

検証内容（案）

人の動き・物の動き共通（鉄道・道路）

a. 働きかけやお願いボリュームと企業の取組規模の相関

b. 取組規模が大きいエリアでの交通量の減少量

c. 拡大試算 ： 上記の相関、取組規模を他のエリアにあてはめた場合の全体の減少量等

d. 課題 ： 周知の不足、制度変更・取引先との調整が間に合わない、社内や業界の慣習
一般道への影響等

e. 取組メニューの実績

物の動き（道路（貨物））

f.荷主との対話を通じたリードタイムや時間指定の緩和等に取り組むことによる配送頻度や走行台数の低減

g.サプライチェーンの中で関係者が工夫すべき点、調整余地

大会に向けた取組イメージ

重点的な働きかけの対象の明確化 （a・b・c・d）

対象への有効なアプローチの実践 （a・b・e・f・g）
- エリアごとの直接訪問、経済団体・業界団体からの働きかけ、説明会、コンサルティング等の組合せ

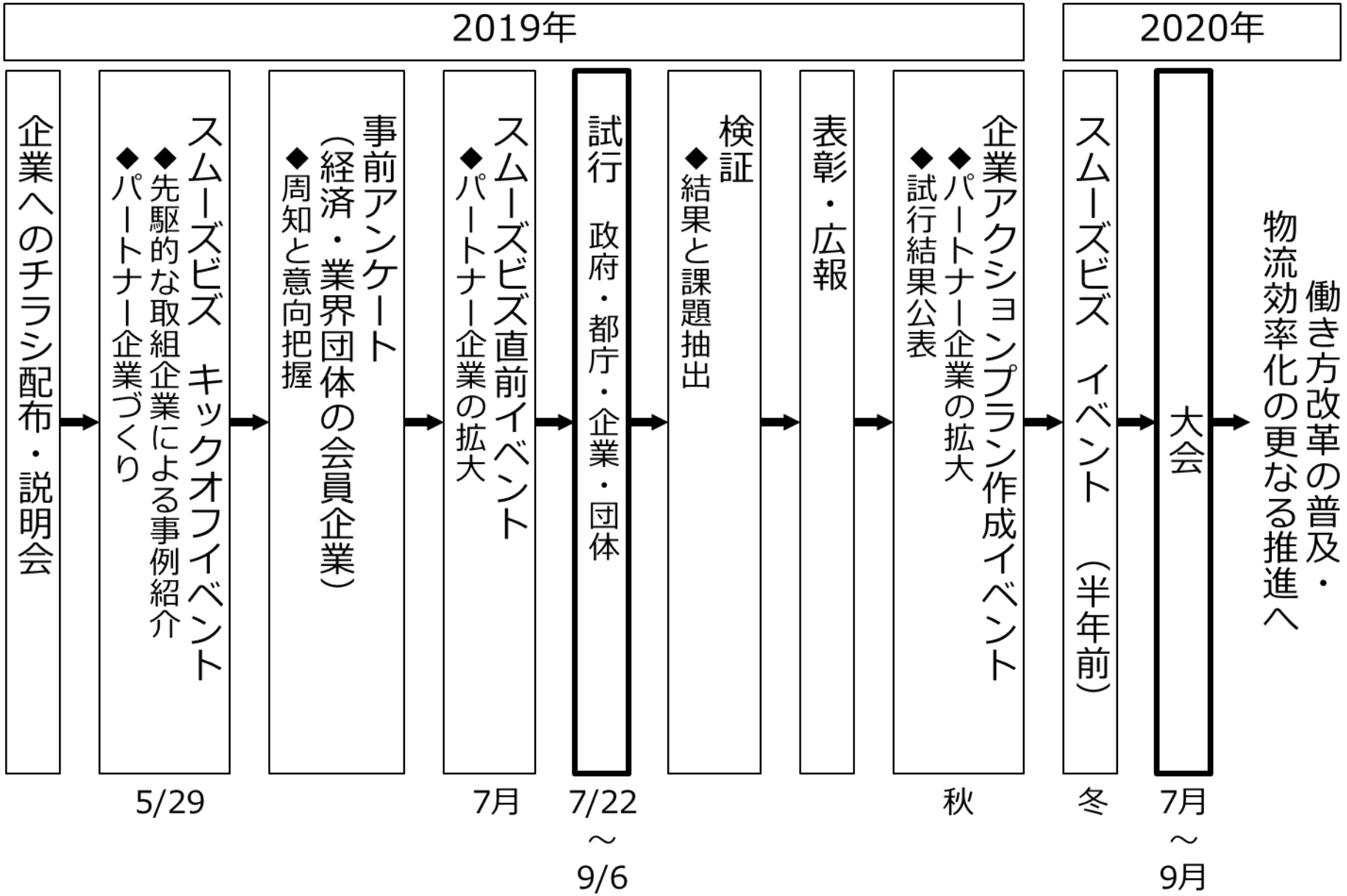
企業や一般市民への目標（大会本番）の提示 （c・d・e）

追加対策の検討 （c・d）

取組事例集（ベストプラクティス）の展開 （e・f）

課題に対応した企業の支援策の展開 （d・g）

（9）取組の今後の展開（イメージ）



（10）試行の広報（案）

- 企業等を中心に、試行実施の周知及びTDMへの協力呼びかけを行う
- 併せて、高速道路利用者を中心に、TSM等の内容の事前周知を行う
- 関係機関と連携し、一体的な広報展開を目指す（テレワークデイズ2019、スムーズビズとも一体的に展開していく）

	媒体等（例）	想定内容
TDM	HP	・2020TDM推進プロジェクトHP等に掲載 ※TSMの掲載ページ、業界団体HP等と相互リンクするように調整
	ポスター、チラシ、サイネージ、情報板	・駅、業界団体、企業、省庁、自治体等への配布、掲載を調整
	メール	・業界団体を通じて所属企業に呼びかけ ・プロジェクトのメーリングリストを通じて呼びかけ
	イベント	・試行内容のPR、参加企業の取組紹介　等
	説明会等	・重点取組地区・全体説明会でのお願い、個別企業訪問 ・都外企業への呼びかけ
TSM	HP	・関係機関のHP等への掲載を調整
	ポスター、チラシ、情報板等	・高速道路SA、PA等にて掲示・配布・掲載等を調整
	横断幕	・高速道路上の施設などへの添架等を調整

※行政機関、関係団体にも協力を要請